

第1回

日韓水素シンポジウム

～水素経済の夜明け 日韓協力で築くグローバル・サプライチェーン～

2025年7月11日(金)

13:30 (開場) 14:00～17:00

愛知県立大学 サテライトキャンパス
(名古屋駅徒歩5分)

言語：日本語



水素社会の実現に向けた動きが世界各地で加速する中、日本と韓国の連携が今、重要な局面を迎えています。本シンポジウムでは、技術力に優れる日本と、実装力とスピードを持つ韓国が、いかに水素分野で補完関係を築き、新たなグローバル・ローカル融合型のサプライチェーンを構築できるかを議論します。

特に、愛知県をはじめとする日本の地方都市における水素ステーション整備、日韓企業連携による水素インフラ構築、さらには国際制度設計における共同発信の必要性に焦点を当てます。水素が単なる環境対策でなく、経済安全保障や産業成長の鍵であることを再確認し、地域から世界へとつながる協力の未来像を描きます。

本シンポジウムでは政府、企業、研究者が一体となって進める日韓水素協力の可能性を探ります。

日時

2025年7月11日 (金) 13:30 (開場) 14:00～17:00

13:30 - 14:00	受付・入場開始
14:00 - 14:10 (10分)	開会あいさつ
14:10 - 15:10 (60分)	第1部：基調講演
15:10 - 15:30 (20分)	休憩
15:30 - 16:30 (60分)	第2部：ラウンドテーブル・パネルディスカッション
16:30 - 17:00 (30分)	閉会あいさつ・ネットワーキング

会場

愛知県立大学 サテライトキャンパス

「名古屋駅」徒歩約5分
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」15階

主催

主管 愛知県立大学 ICTテクノポリス研究所
共催 亞洲大学校 日本政策研究センター

後援

愛知県、中部経済連合会

シンポジウムプログラム

13:30 – 14:00 受付・入場開始

14:00 – 14:10 開会あいさつ

14:10 – 15:10 **第1部：基調講演（言語：日本語）**

「グローバル連携による水素経済の創出 — 日韓協力の可能性と課題」

韓国・亜洲大学校

教授・日本政策研究センター長 朴 盛彬 氏



韓国・亜洲大学にて日本政策研究センター長を務め、日韓関係、経済安全保障、水素経済を専門とする国際政治経済学者。筑波大学で博士号を取得後、日韓の大学で教育・研究活動を展開。政府機関や経済団体の政策フォーラム、産業界の会議で水素協力や経済政策に関する発表を多数行っており、両国の制度比較や産業戦略の第一人者として高い評価を受けている。

15:10 – 15:30 休 憩

15:30 – 16:30 **第2部：ラウンドテーブル・パネルディスカッション（言語：日本語）**

テーマ：グローバル視点から考える日韓の水素協力戦略

●進行・モデレーター

愛知県立大学ICTテクノポリス研究所 所長 神谷 幸宏

●パネリスト

韓国・亜洲大学校 教授・日本政策研究センター長 朴 盛彬 氏

韓国・亜洲大学校 教授 李王徽 氏



ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 国際政治学博士、2006年から亜洲大学教授。2025年からは亜洲大学統一研究所長を兼任。2023-2024年韓国国際政治学会副会長。現在、外交部、産業通商資源部、科学技術情報通信部に経済安保問題について諮問。研究分野は東アジア政治経済と米中戦略競争。主な研究業績としては、『バイデン時代の中国の多国間外交の展望』『世界先導国家と正義の転換：ポストコロナ時代における韓国の国政方向』『強大国競争と関連国の対応：歴史的事例と示唆点』『米中葛藤時代における対外環境の構造変化と対応策』『米中戦略競争時代の地政学的リスクと経済安全保障』など。

パナソニック総研 主幹研究員 町田 穂高 氏



東京大学法学部卒業後、2001年4月に外務省入省。中国・南京大学及び米国・ハーバード大学（修士号取得）を経て、在中国大使館において勤務。その後、中国・モンゴル課において、4年間に10回の首脳会談、12回の外相会談などのハイレベル会談の準備に従事した他、「日中高級事務レベル海洋協議」の立上げや「日中海上捜索・救助（SAR）協定」の原則合意に関する交渉を担当・主導した。

トヨタ自動車株式会社 水素事業推進部 主査 森 裕貴 氏

16:30 – 17:00 閉会あいさつ・ネットワーキング

お問い合わせ先

愛知県立大学 ICTテクノポリス研究所 所長 神谷 幸宏

メール：info@itri-apu.com